生き活きしらぬか 笑顔輝くまちを目指して

広報 しらぬか

2021
4
April
No. 1013
Public Relations Magazine



Contents

2 特集 町政執行方針
8 特集 教育行政執行方針
12 まちの予算（令和３年度）
15 フォトコンテスト「ふるさと納税部門」受賞者発表
16 防災行政無線の運用開始
18 まちの話題（マイナンバーカード出張申請ほか）
30 白糠の人に会いたい（早坂茜さん）

久しぶりに泳ぐぞ！ 温水プール再開

改修工事のため昨年の10月１日から休館していた温水プールが３月20日にリニューアルオープンしました。この日は、午前10時の開館とともに、再開を待ちわびた方たちが訪れ、元気よくプールで遊んでいました。廣橋咲良さん（白小１年）と知希君（４歳）兄弟(写真)は「久しぶりにプールで遊んで楽しかった」と笑顔でした。

令和3年度 町政執行方針（要旨）



3月3日、棚野町長が令和3年第1回町議会定例会で町政執行方針を述べ、理解と協力を求めました。

はじめに

昨年来、国民の生命と生活に深刻な影響を及ぼし、戦後最大の経済の落ち込みという国難をもたらした新型コロナウイルス感染症について、政府は、国民の命と健康を守り抜き、一日も早く収束させ安心を取り戻すため、感染拡大の防止と社会経済活動の回復に向けて全力を挙げており、地方においても、この未曾有の危機を乗り越えるための現場対応を日々懸命に続けています。

この間、町民の皆さま、事業者の皆さまには、生活や仕事など多方面に影響が波及し、大変な苦労をされている中で「新しい生活様式」の実践などにご理解とご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

コロナ禍を契機として、かつての日常を遠くに感じるほどのスピードで社会が変化を遂げたこの一年、大都市・一極集中の弊害やリスクが顕在化し、地方分散型の国づくりと地方活性化への要請が一段と高まってきました。

国においては、コロナ禍の逆境の中にあっても、地方をリードしていく農林水産業の成長産業化に向けたさらなる改革を強力に推し進めることを掲げています。

農山漁村を有する地方が、地域起点の地方創生を推進していくためには、第一次産業がその原動力にならなければなりません。

私は、時代の変化を捉えて取り組んできた「新たなまちづくり」が、国が目指す施策推進の方向性に合致するものであり、我が町が将来に向かって持続可能な町政を確立するための確かな基盤構築に着実に結びついていると考えています。今まさに、まちの将来に向けて、さらにはポストコロナ時代の社会・経済の構造転換をも見据えて、農林水産業活性化のさらなる展開から「新たな価値」を創造していく時機が来たと確信しています。

本年度も、時代の潮流を見極めながら、本町の創生を図るため、「第一次産業の再興と振興」をはじめとする「3つの柱」をまちづくりの中心に据え、総合的な施策による人口減少対策、安全・安心な暮らしのための防災・減災対策など、喫緊の課題にしっかり向き合い対応すべく、これまで培った経験や人的ネットワークを最大限に生かし、将来に向かって希望あるまちづくりに努めます。

本年度の町政執行の基本的な考え方について

「第8次白糠町総合計画」を踏まえ、重要視点として位置付けている「3つの柱」と「第2期白糠町創生総合戦略」とともに取り組みを進め「生き活きしらぬか笑顔輝くまちを目指して」をまちづくりのテーマとして、各種施策を推進します。

新型コロナウイルス感染症については、事態のさらなる長期化が避けられない現状において、先ずは一刻も早いワクチン接種に期待がかかる一方、疲弊している経済



新規就農へ意欲を持った方を地域おこし協力隊として任用

の回復に向けた対策についても、各般の情勢を見極めた上で実施するなど、状況の変化に即応しつつ、町民皆さまの安心な暮らしと雇用・経済を守り抜くために必要な対策を躊躇なく速やかに講じます。

本年度推進施策の大要について

1 機能的で魅力ある基盤づくり

町民の安全・安心と快適な生活を守り、住環境などの利便性を確保するためには、計画的な生活基盤の整備と施策の推進が必要です。

道路整備は、国道２７４号標茶・上茶路間のうち、釧路市阿寒町布伏内から本町二股までの17・７㎞は、全国の国道でも数少ない未開通区間となっており、早期の整備促進に向けて、関係機関に対する要請活動に努めます。また、地域住民の利便性の向上と物流の効率化を図るため、国道38号を補完する町道振内線は、本年度中の事業完了に向けて整備を進めます。

町営バスターミナルの改築に向けては、白糠駅舎との合築による交通アクセスの利便性確保や駅前を中心とした賑わい創出を図る観点から、まちの新たな拠点となる複合施設として整備する考え方を基本とし、官民連携による効果的・効率的な事業手法などを検討するとともに、継続してＪＲ北海道など関係機関との協議を進めます。

消防体制の整備は、第２・第３分団詰所が改築時期を迎えていることから施設整備の方向性について検討を進めます。

防災体制の整備は、河川の増水や大雨による浸水被害を未然防止する災害用排水ポンプ９基について、適切な維持管理に努めるとともに、設置からの経過年数などを考慮し、本年度からの年次計画をもって順次更新を実施します。

また、戸別受信機で、災害時に正確な情報を伝達し、速やかな避難行動に繋がるよう努めます。

政府が日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルを公表したことを受け、北海道が津波浸水想定図を策定する方針を示していることから、公表後、速やかに津波災害の啓発などの対応を図ります。

防災基盤の整備は、自然災害に対する町民の安全・安心を確保するため、海岸保全や河川整備などの事業推進に向け、関係機関に対する要請活動に努めます。

また、国道38号恋問館付近から町道釧路空港短絡線に連結する避難路について、大津波発生時に恋問館の利用者や国道の通行者が一刻も早く高台に避難することができるよう、早期の整備実現に向けて関係機関との協議を継続します。

行政のデジタル化は、住民サービスの向上を実現することに加えて、国・地方全体としての行政の効率化を図ることが重要なことから、地方自治体における基幹系情報システムの統一・標準化などに向けた国の動向を注視し、積極的な情報の収集・提供に努めます。

ＩＣＴインフラの整備は、超高速ブロードバンド環境がこれからの産業や生活の基盤をなすものであり、新型コロナウイルス感染症対策においてもその必要性が明確になったことから、全ての未整備地域を対象に、民設民営方式で光ファイバ網の整備を進めます。



第２分団詰所は、築44年が経過しており老朽化しています。

①国道・道道の整備促進要請
②町道の整備促進
③橋梁長寿命化修繕計画の推進
④農道・林道の整備
⑤海岸保全・河川の整備促進要請
⑥地域公共交通ネットワークの確保・維持
⑦町営バスターミナル・駅前広場の整備に向けた取組の推進
⑧公営住宅等長寿命化計画の推進
⑨交通安全思想の普及啓発
⑩消防・防災体制の充実強化の推進
⑪行政のデジタル化に向けた取組の推進
⑫ＩＣＴインフラの整備促進

2 美しく快適な環境づくり

先人から受け継がれてきた貴重な財産である、森林・川・海の豊かな自然環境をしっかりと守り、後世に引き継いでいくため、環境に対する取り組みを展開します。

水道事業は、浄水場と配水管の整備・更新を進めるとともに、水道施設台帳の整備を実施し、健全な事業運営に努めます。

下水道事業は、将来にわたって安定的な経営を維持するため、地方公営企業法を適用した公営企業会計への移行に向けた取り組みを進めます。

坂の丘公苑墓地は、町が維持管理することを基本とした樹木葬墓所・合葬墓について、本年秋頃の供用開始に向けた造成整備を進めます。

自然公園は、優れた風景地として保護するとともに、本町におけるアイヌの歴史・文化にゆかりのある「アイヌ伝統文化空間」として位置づけ、再整備を進めます。

①上水道・簡易水道・飲用水道供給施設の整備の推進

②上水道・簡易水道施設台帳の整備の推進

③公共下水道の整備の推進および普及率の向上

④公共下水道施設長寿命化計画の推進

⑤下水道事業の公営企業会計への移行

⑥合併処理浄化槽の設置整備の推進

⑦国民運動「クールチョイス」の推進

⑧釧路管内市町村による「自然の番人宣言」の推進

⑨「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進

⑩樹木葬墓所・合葬墓の造成整備の推進

⑪自然公園の再整備の推進

⑫公園施設長寿命化計画の推進

3 健康で思いやりのある社会づくり

新型コロナウイルス感染症に対しては、ワクチンの供給状況と接種の優先順位などを踏まえ、希望する町民の皆さまに一日も早く確実に実施することが極めて重要なことから、全庁を挙げて取り組みを進めます。加えて、収束が見通せない現状において、引き続き緊張感を保ちつつ、感染拡大防止に努めるとともに、こころと身体の健康を維持するための取り組みを継続します。

健康づくりについては「すこやか白糠21」に基づき、各種教室や訪問活動などを通して健康寿命の延伸を図るとともに、生活の質を向上させるための一次予防を推進します。

成人保健は、健診と脳ドック検査を合わせて実施することにより、疾病リスクの早期発見と適切な治療に結びつく成果が現れていることから、町民のさらなる健康増進につながるよう努めます。

母子保健は、相談・支援のワンストップ拠点である子育て世代包括支援センター、母子手帳アプリ、オンライン相談などの活用促進を図るとともに、妊娠から出産、子育てまで切れ目のないトータル支援を提供し「子育て応援日本一の町」を実践します。

アイヌ施策は、アイヌ施策推進法に基づき、国の財政支援を活用した地域振興策を講じます。また、アイヌ民族をテーマにした映画制作の協力・支援を行うとともに、地域活性化に資する取り組みを進めます。



白糠町のアイヌ文化を動画で積極的に配信していきます

高齢者福祉は、交流機会の確保と福祉の増進に努めるとともに、さらなる社会参加の促進を図るため、高齢者の活動実績に応じてインセンティブを付与する「生き活いきしらぬか活動応援ポイント事業」の創設・実施に向けて準備を進めます。

障がい者福祉は「障がい福祉計画・障がい児福祉計画」に基づき、事業者など関係機関と連携を図り、必要なサービスの提供に努めます。

子育て支援は「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、出産・保育・教育・医療の各分野にわたる一体的な施策「太陽の手　子育て支援」を推進し「子育てするなら白糠町」と実感していただけるよう、特徴ある子育て支援情報を広く発信し、子育て世代の移住・定住の促進を図ります。

少子化対策は、新婚世帯に対する新生活支援制度を本年度から実施し、婚姻に伴う経済的負担の軽減を図ります。

幼児教育・保育の充実については、義務教育との円滑な接続への取り組みを推進するため、幼児教育をサポートする支援員を新たに任用し、学校法人二葉学園と連携しながら、幼児期の早い段階から「平仮名の読み」や「数と計算」などの定着を図ります。

また、白糠小中学校の統合事業と併せて、白糠こども園、子ども発達支援センターを移転改築し、０歳から15歳までの一貫した教育環境の整備を進めます。

介護保険事業は「第８期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づく事業の推進に努めるとともに、認知症や食欲・体力低下のリスク要因となる閉じこもりなどを防ぐよう、介護予防事業の充実を図ります。

①生活習慣病予防および改善の推進
②身体づくりの推進
③健康づくりの情報提供および予防対策の推進
④母子保健事業の推進
⑤食育の推進
⑥メンタルヘルスケアの推進
⑦国民健康保険事業の健全運営
⑧ウレシパチセを核としたアイヌ施策の推進
⑨アイヌ民族をテーマにした映画制作への協力・支援
⑩生き活(い)きしらぬか外出支援・健康入浴・ふれあい交流・日帰り温泉事業の推進
⑪障がい福祉サービスの推進
⑫総合的施策「太陽の手　子育て支援」の推進
⑬子ども・子育て支援事業計画の推進
⑭結婚支援事業の実施
⑮幼児教育・保育の充実
⑯白糠こども園および子ども発達支援センターの移転改築の推進
⑰介護サービスの推進
⑱介護予防・日常生活支援総合事業の充実
⑲認知症対策の推進
⑳成年後見制度の推進



教員や学習塾講師の経験を持つ方を講師に任用している放課後学習サポート。新年度は新たに幼児教育支援員を任用。

4 希望あふれるひとづくり

「ふるさと教育」を教育行政の基軸として、総合教育会議における情報の共有化など、教育委員会と一層の連携を図りながら、引き続きその推進に努めます。

なお、教育行政の執行方針については、８頁から掲載しています。

5 活力に満ちた産業づくり

まちづくりの中心に据えて取り組んでいる「第一次産業の再興と振興」については、転換期を迎えている地域産業の現状を踏まえ、業界が将来を見据えて自律的・内発的に取り組む事業に対して支援することを目的に、基金の造成などを行い、変革が求められる産業全般において、全町を挙げて取り組みを推進し、一次産業の活性化と地域経済の発展に努めます。

農業の基幹となる酪農は、戸数が減少傾向にあることから、乳量の確保など、酪農基盤の安定化を図ることを最優先とし、時代に即した経営スタイルの確立を図るため、大規模農業法人が進めている畜産クラスター事業への支援を行うとともに、畜産・蔬菜生産においてもチャレンジしやすい環境づくりを進め、それらの取り組みに対して必要な支援に努めます。

また、担い手対策として、新規就農の意欲を持った地域おこし協力隊員を任用し、営農技術の習得などの研修を行い、次代を担う多様な人材の確保に取り組みます。

林業は、森林資源の平準化を念頭に、永続的な循環利用を促進し、森林環境の保全や林業専用道などの路網整備による未整備森林の適切な更新を図るとともに、本町の豊かな森林を未来へ引き継いでいくため、人材育成や環境教育にも取り組みます。

漁業は、主要魚種の記録的な漁獲の不振が続くなど、大変厳しい環境にある中、漁業経営の安定と水産資源の安定的な確保が喫緊の課題となっており、これまでの「獲る漁業」や「つくり育てる漁業」に加え、天然資源に頼らない「新たな増養殖事業」の必要性が高まっています。増養殖事業にあっては、漁業者自らの取り組み、漁業者が民間企業の力を借りての取り組み、民間企業による取り組み、さらには前浜だけではなく陸上での展開などが考えられることから、可能性を見極めながら新たな取り組みに対する支援に努めます。

また、町としても転換期を迎えている漁業振興施策の推進にあたり、まずは白糠海域の現状を把握する必要があると考え、現在の前浜の漁場や藻場の環境、これまで道営事業により設置した魚礁や産卵礁などの状態について、映像による可視化事業を実施し、白糠漁業協同組合と連携を図りながら、将来に向けた漁業の在り方を検討します。


昨年のシシャモ漁は46トンと、記録的な不漁でした。

商工業の振興については、新型コロナウイルス感染症の影響により甚大な経済的被害を受けている現下の状況を踏まえ、白糠町商工会との連携の下、適宜効果的な経済対策を展開することにより、事業者の活力の向上を図り、地域経済の立て直しに努めます。

また、建設から33年を経過した白糠振興センターは、老朽化への対応に加えて、利用需要を踏まえた機能向上が必要であることから、時代に即した利用者に優しい施設となるよう改修を進めます。

併せて、まちの賑わい・活力の創出についても並行して取り組んでいく必要があることから、地域おこし協力隊員を活用しながら、食材をはじめとする本町の豊かな地域資源の情報を発信し、交流人口や特産品販路の拡大など、まちの活性化に向けた取り組みを進めます。

しらぬか物産センター恋問館は、改築に向けて町や白糠町振興公社の関わり方を含め、建物の規模や資金調達など、さまざまな角度から具体的な検討を行うとともに、移転先の用地買収に向けた協議を進めます。

魅力発信については、子育て支援・教育などの施策、地域資源をはじめとするまちの魅力をさまざまなメディアを通して効果的に発信し、交流人口や関係人口の創出・拡大を図ります。

ふるさと納税については、物産・産業振興、地域経済活性化、移住・定住を推進する観点から、さらなる本町のＰＲに努めるとともに、食と食材などを通して、事業者・生産者の方々と都市部との新たな関係性を創出し、将来に向けて持続していくための取り組みを推進します。

再生可能エネルギーの取り組みについては、地熱資源の試験井掘削が進められていることから、調査が円滑に進捗するよう協力を行います。

掘削技術専門学校は、本町における地域活性化はもとより、我が国における将来の地熱開発にも大きく寄与することから、国、北海道など関係機関と連携の上、必要な支援に努めます。

本町泊別地区の道立広域公園構想については、現在、北海道において、民間の資金と能力の活用による効率的かつ効果的な整備手法の検討と併せ、公園の整備計画に必要な基本条件の整理が行われていることから、より一層関係機関と連携を図りながら、早期の整備実現に向けた取り組みを進めます。

①道営草地整備事業の推進
②畜産クラスター事業の推進
③家畜防疫対策事業への支援
④担い手対策、新規就農者等支援事業の推進

⑤中山間地域等直接支払交付金制度による事業の推進
⑥多面的機能支払交付金制度による事業の推進
⑦有用植物の調査・研究への支援
⑧農林業の連携による地域資源を活用した循環型森づくりの推進
⑨ヤナギを活用した新たな産業、雇用の創出に向けた取り組みの推進
⑩エゾシカ有害捕獲および有効活用の推進
⑪ヒグマ被害防止対策の推進
⑫有害鳥獣捕獲の担い手育成に対する支援
⑬町有林整備事業の計画的な推進



楽天ショップオブザイヤー2020でふるさと納税賞を受賞。

⑭民有林振興対策の推進
⑮漁業資源の増養殖事業の推進
⑯漁業後継者の育成に対する支援
⑰漁業操業用機器の整備・更新に対する支援
⑱水産生産基盤整備事業の推進
⑲新型コロナウイルス感染症被害に向けた経済対策の推進
⑳新産業創造等促進事業の推進
㉑しらぬか物産センター恋問館の改築の検討
㉒しらぬか魅力発信事業の推進
㉓青年就業者海外等研修事業の実施
㉔ふるさと納税の推進
㉕再生可能エネルギーの利活用に向けた取り組みの推進
㉖住宅対策による定住化の促進
㉗道立広域公園整備の推進

6 みんなで歩む地域づくり

「第８次白糠町総合計画」を基本とし、さまざまな観点から事務事業の見直しを継続して実施するとともに、計画的かつ効率的な行財政運営に努めます。
また、広報紙やホームページ、SNSなどによる情報発信については、民間事業者が有する専門的な知見とノウハウを積極的に取り入れるなど、町民と行政が一体となったまちづくりに取り組みます。
地方分権の推進については、釧路町村会の「地域づくり広域プロジェクト推進会議」など、広域連携に向けた取り組みを推進します。

①「第８次白糠町総合計画」の進行管理
②「太陽のてがみ」による町民と行政の協働のまちづくりの推進
③広報紙、ホームページなどによる情報発信の充実・強化
④健全な行財政運営の基盤の構築

おわりに

新たな時代「令和」のコロナ禍は、これまでの日本社会が短期的な経済合理性を追求するために、社会を構成する要素を過度に集中させたことによる都市部の脆弱性を浮き彫りにしました。
時間や場所にとらわれないテレワークなどの普及が、オンラインとオフラインを組み合わせた柔軟性のある経済・産業活動を可能にするとともに、人生における暮らし方や働き方に対する考えや価値観に変化をもたらしており、地方への関心は高まりつつあります。
私は、こうして動き始めた「ひと・しごと・情報の流れ」を的確に捉え、さまざまな主体と関わりながら、先人から受けたこの「貴重な大地」の潜在力をさらに引き出していくことが「新たな価値」を生み、まちの原動力・成長力となっていくものと考えています。
「原点に立ち返り、足元を見つめ、耕し直す」ことを念頭に、身の丈に合った「新たなまちづくり」をより前へ、さらにその先へと、着実に歩みを進めながら、町民皆さまとの約束である「子どもたちの笑顔が輝くまち」「災害に強いまち」「第一次産業が支えるまち」を確かなものとし、安全で安心して心豊かに住み続けられる、誰もが住んでみたくなる「ふるさと白糠」をしっかりと次の世代へと引き継いでいく、その決意をもって、本年度も全力でまちづくりに取り組みます。

令和3年度 教育行政執行方針（要旨）

1 はじめに

昨年は、新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大により、「先行き不透明な時代」となりました。

教育の現場に目を向けても、各学校では、日常的な感染の予防や対応といった「新しい生活様式」に基づいた取り組みを行いながら、子どもたちの安全・安心を確保しつつ、この「先行き不透明な時代」を生き抜くための資質・能力をどのように身に付けさせるか、対応が求められています。

一方で、こうしたコロナ禍の状況において、オンラインと対面による授業を組み合わせたハイブリッド型の授業が日本中で展開されるなど、与えられた環境の下で新たな価値を見出し、今できる最大限のことを生み出す力を発揮してきました。

学校教育では、全町一斉に「小中一貫教育」が進められて3年が経過し児童生徒、学校、地域の実情等を踏まえた取り組み内容の質を高めることができましたが、一方で学力や体力面など、さまざまな課題が明らかになりました。今年度は、その一つ一つの課題を確実に解決すべく、マネジメントサイクルを機能させ、きめ細かな指導の充実を図ることができるよう、取り組んでいく考えです。また、社会教育では、生涯学習に対する意識の向上を図るとともに、協働意識をもって町づくりに参画できる教育環境を整備する必要があると考えています。

白糠高等学校の魅力化については、公営塾を中心としたさまざまな取り組みにより一定の成果が現れはじめています。今後は地域教育コーディネーターを中心に、学校や教育振興協議会、外部アドバイザーとの連携を一層強化します。

『ふるさと教育』を継続・充実することで、これからの時代に必要な資質・能力を着実に身に付け、どんな変化にも柔軟に対応できる人材の育成と、同時に白糠という恵まれた環境で学ぶことに喜びを感じつつ、主体的に行動できる人材の育成を目指します。

2 学校教育の充実

「子どもたち一人一人が未来を拓き、活躍できる人材の育成」に努めるとともに、本町らしい子育て支援や小中一貫教育の一層の充実に向け、次の3点の取り組みを推進します。

①実社会で生きる実践的な力の育成

子どもたちが「自立的で変化する社会に柔軟に対応できる創造性豊かな人」へと成長できるよう、次の3点を重点として推進します。

一つ目は「基礎学力の定着」です。将来の自己実現および社会参画に必要な知識・技能、思考力等、学びに向かう力の確実な定着を目指し、小中一貫教育の一層の充実を図ります。

具体的には、児童生徒に一人一台の環境を整備した教育用タブレットを積極的に活用し、学習効果の向上を図るとともに、放課後学習サポート事業との連携を深め、家庭学習の習慣化と基礎学力の保障に努めます。

二つ目は「語学力の向上」です。ALT（外国語指導助手）による外国語指導を充実させ、日常的に使える外国語の習得を図ります。また、海外研修等による外国語を用いたコミュニケーションの場を設定するなど、グローバル化に対



白糠高校では、新年度から給食が無料で提供されます。

応できる素地の育成に努めます。

三つ目は「キャリア教育の充実」です。「白糠町版キャリアパスポート」を作成し、それを活用した取り組みを推進して、主体的に学びに向かう力を育み、将来にわたり自己実現につなげることができるよう努めます。

②豊かな心と健やかな体の育成

子どもたちが「たくましく、しなやかな心をもって人や社会と積極的に関わって生きていく力」を身に付けることができるよう、次の４点を重点として推進します。

一つ目は「生命の尊さと思いやりの心の育成」です。道徳性を育む道徳教育の充実を図りながら、「白糠町三愛運動」の実践を通して道徳的実践力を高める取り組みを推進します。

また「白糠町子ども会議」等の開催を通して、いじめ未然防止に向けた取り組みの充実を図り、他者との関りの中において、自己肯定感を高めつつ、思いやりを育む取り組みの場を設定します。

二つ目は「体力の向上と望ましい生活習慣の確立」です。学校や家庭・地域における日常的な運動機会の確保に努めます。また、定期的な「ノーゲームデー」や「情報端末機器の利用におけるルールの徹底」を進め、学校と家庭、教育委員会が一体となった取り組みに努めます。

三つ目は「学校の新しい生活様式の確立」です。新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりへの取り組みを進めます。



町民の方が白糠中に２人、白糠小に１人、庶路学園に２人、スクールサポートスタッフとして勤務し、新型コロナウイルス感染症対策に講じています。

四つ目は「地産地消や地域の特性を生かした食育の推進」です。今後も「ふるさと給食」を継続するとともに、安全・安心で栄養バランスの取れた、白糠ならではの給食の提供に努めます。

③信頼される学校づくりの推進

学校が「保護者や地域からの信頼」を構築するため、次の３点を重点として推進します。

一つ目は「地域に根差した学校づくり」です。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことができるよう、コミュニティ・スクールの導入推進と併せて、その成果を共有できるよう努めます。

二つ目は「教師の力量向上」です。新たな教育課題である「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善」等に、柔軟に対応できるよう、白糠町教育研究所による研究発表会や校内研修等の充実を図ります。また「学校現場の働き方改革」について、教職員がしっかりと子どもたちに向き合うことのできる時間の確保に努めます。

三つ目は「地域全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進」です。町の宝物である子どもたちが安心して学べるよう、各家庭への入学支援金の支給と、給食費無料化の継続を行います。

また、令和４年度から義務教育学校としてスタートをきる、白糠小学校と白糠中学校の統合事業を推進します。認定こども園による「アプローチカリキュラム」と小学校における「スタートカリキュラム」により、幼児教育と学校教育の連携を深め、０歳児から15歳まで、教育の連続性を確保します。

白糠高等学校の魅力化については、白糠高校生への給食無料提供といった新たな取り組みを実施し、公営塾の充実・活性化とともに継続して推進します。

3 社会教育の充実

教育行政スキームの実践プラン「生活いきいきプラン」および「親子にこにこプラン」に沿い、次の５点の取り組みを推進します。

①豊かな心を育む生涯学習の推進

生活に潤いをもたらす生涯学習社会を実現するため、次の2点を重点として実践します。

一つ目は「まちぐるみ運動の推進」です。三愛運動の実践を一層奨励するとともに、まちづくりにつながる学習機会の充実を図り、各種団体等による活動の推進に努めます。

二つ目は「ボランティア活動の推進」です。ボランティア講師の発掘と活動の環境整備に努めるとともに、実践内容を積極的に紹介し、活動の推進および活性化を図ります。

②社会教育活動の充実

家庭教育支援と青少年の健やかな育ちを願い、次の3点を重点として推進します。

一つ目は「家庭の教育力を向上させる支援の充実」です。子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、関係機関との連携による多様な学習機会の提供に努めます。

二つ目は「青少年健全育成事業の推進」です。地域の自然・文化・産業を生かした体験活動の充実を図るとともに、学社連携を強化する各種事業を展開します。

三つ目は「読書機会の充実」です。公民館図書室の機能やサービスの充実を図るとともに、子どもから高齢者まで幅広く本に触れる場を提供し読書活動を推進します。

③文化芸術活動と郷土芸能の振興

郷土芸能を未来へつなぐため、次の2点を重点として推進します。

一つ目は「文化芸術活動の充実」です。文化芸術活動の発表と鑑賞および参加の機会を積極的に情報提供します。

二つ目は「郷土芸能の伝承活動推進」です。各種団体への活動および後継者の育成支援や事業協力により、白糠ならではの郷土芸能の保存・伝承の推進に努めます。

④スポーツ活動の振興

「生涯スポーツ社会」の実現を目指すため、次の2点を重点として推進します。

一つ目は「生涯スポーツの充実」です。ひとり1スポーツを目指し、誰もが気軽に行えるニュースポーツをはじめ、各種スポーツ教室を通じて、体力・健康づくりを推進します。

二つ目は「競技スポーツの充実」です。競技力の向上を図るため、SEA（スポーツ国際交流員）を活用した町技スポーツの振興、および各種団体の活動や大会出場を支援するとともに、新たな指導者の確保に努めます。

⑤社会教育施設の整備・充実

安全・安心かつ快適に各施設を利用できるよう、次の2点を重点として推進します。

一つ目は「施設の長寿命化を図る保全・管理」です。施設の点検や補修を行い、適切な維持管理に努めるとともに、各種計画に基づき、施設の長寿命化を図ります。また、文化芸術活動の拠点となる新たな文化施設整備の検討を進めます。

二つ目は「利用の活性化を図る工夫・改善」です。多様なニーズに対応する文化施設の運営に努めるとともに、指定管理者との緊密な連携による、スポーツ施設の一層のサービス向上と利用拡大に努めます。

4 おわりに

新しい民主的な南アフリカ共和国の礎を築いたネルソン・マンデラ氏は「教育とは世界を変えるために用いることができる最も強力な武器である」という言葉を後世に残しています。私たちは今こそ「教育」の力を信じて、このコロナ禍の時代に光を灯し、明るい未来を切り拓けるよう、英知を集結させて取り組みを進めます。

子どもたち一人一人が、社会の急速な変化に対応し、持続可能な社会の創り手としての資質・能力を定着させるために、職員が一丸となって最善を尽くします。

○町政執行方針および教育行政執行方針は、広報用に編集しています。全文は、役場企画財政課（2階12番窓口）または庶路支所、町ホームページで見ることができます。

令和2年度
標準学力検査・総合質問紙調査結果

「標準学力検査（CRT）」および「総合質問紙調査（I－Check）」は、町内小学1年生から中学3年生までの全児童生徒を対象に実施しています。

1 標準学力検査結果

小学3年生、中学1、3年生で、全教科の平均が目標値を越えました（**図1**）。また、昨年度より各学年の総合成績が上がっています。

一方、小・中学校全体の傾向として、知識を活用する問題や記述式の問題で苦戦している児童生徒が多くみられました。授業や家庭学習において「自分の考えを書いてまとめる学習」に取り組む必要があります。

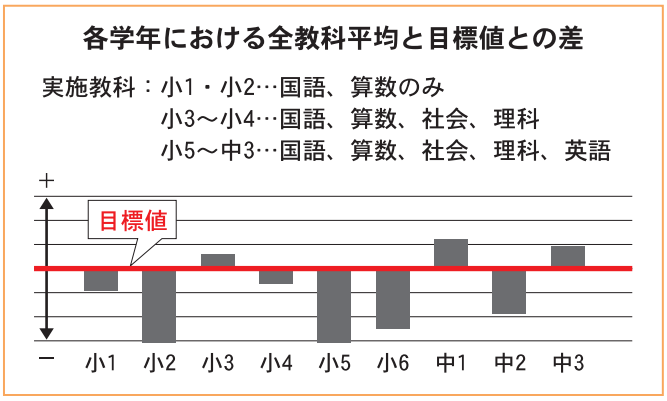
2 総合質問紙調査結果

小学校で家庭学習の習慣化が図られているという結果がでました。一方で中学2、3年生では家庭で週に4日以上勉強する割合が低くなっています（**図2**）。また、1日当たりの家庭学習時間は、すべての学年で全国平均を下回っています（**図3**）。

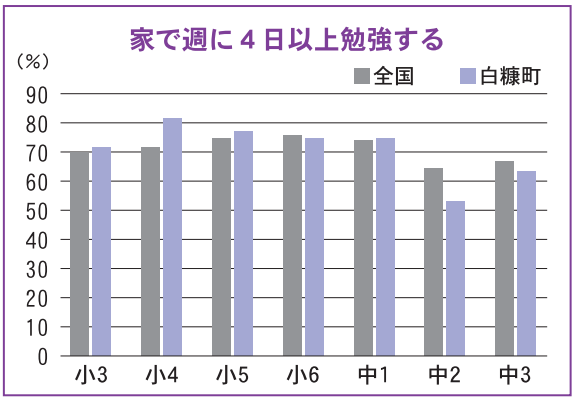
また、テレビやゲームをする時間は、概ねどの学年でも全国平均より多いという現状から（**図4**）、改めて時間の使い方を見つめ直し、規則的な生活・学習習慣の定着を図る必要があります。

標準学力検査・総合質問紙調査結果に関する問い合わせは、教育委員会指導室☎2－2171（内線266）まで。

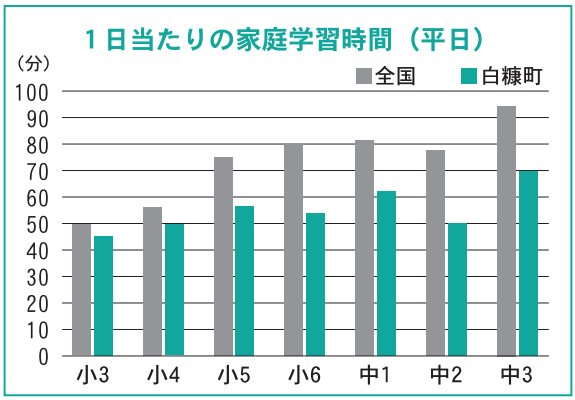
（図1）



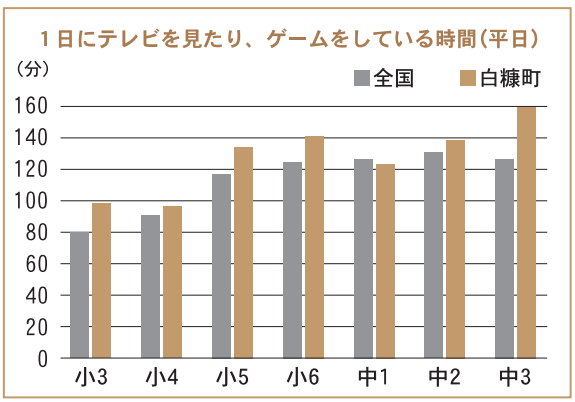
（図2）



（図3）



（図4）



今後の対応について

- 問題や課題に取り組むとき、自分の考えや意見を書くようにしましょう。
- 1日の生活を見直し、毎日決まった時間に家庭学習に取り組みましょう。
- 家庭学習では、授業の予習・復習を中心に取り組みましょう。
- テレビや情報端末機器等を使用する時間は、家庭でルールを決めて守りましょう（情報端末機器に関する町のルールを守りましょう）。

令和3年度 予算

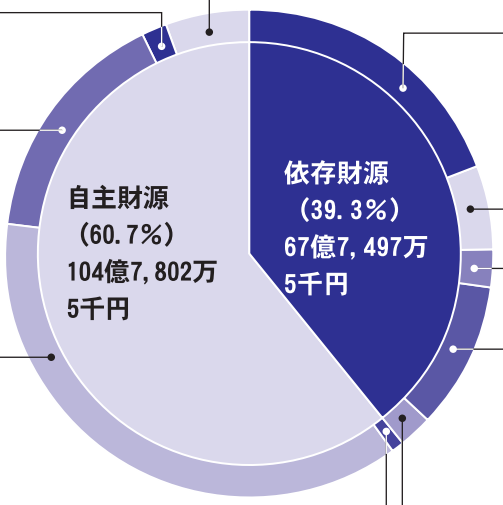
令和3年度の予算が第1回町議会定例会で可決されました。

一般会計の当初予算は、172億5300万円（前年度比18・7％増）です。まちづくりの「3つの柱」である「第一次産業の再興と振興」「健康づくり」「教育」を中心に、今と未来を見据えた予算編成としました。第一次産業の再興と振興の一環として農業・林業・漁業の特定目的基金を造成し、10億7900万円を積み立てます。また、白糠小学校、白糠中学校、白糠こども園、子ども発達支援センターを統合する事業に11億7676万4千円を計上しました。

特別会計の当初予算は、30億5473万2千円（前年度比2・1％減）となっており、一般会計と特別会計を合わせた総額は、203億7732千円（前年度比15・0％増）となっています。

問合先
企画財政課財政係
☎2－2171
（内線320）

一般会計 歳入



町税（5.5％）9億4,739万6千円
・町民税や固定資産税など皆さんが納める税金です。

使用料等（1.7％）2億9,550万3千円
・施設の使用料や証明書の発行手数料などです。

繰入金（15.7％）27億843万2千円
・基金から一般会計に繰り入れるお金です。

寄附金（37.1％）64億円
・ふるさと納税などの寄附金です。

その他②（0.7％）1億2,669万4千円
・諸収入、繰越金、財産収入などです。

地方交付税（19.3％）33億2,000万円
・町の財政需要に応じて国から交付されるお金です。

国庫支出金（5.6％）9億7,052万3千円
・特定の事業を行うために国から交付されるお金です。

道支出金（2.4％）4億1,748万3千円
・特定の事業を行うために北海道から交付されるお金です。

町債（9.9％）17億672万8千円
・特定の事業を行うために借り入れるお金です。

その他①（2.1％）3億6,024万1千円
・地方譲与税、地方消費税交付金などです。

まちづくり3つの柱事業

第一次産業の再興と振興

●農業・林業・漁業の特定目的基金への積み立て　10億7900万円

●新規就農者等支援事業　839万円
新たに農業を営む方を対象に、経営支援や施設整備費等を支援し、農業の担い手を育成します。

●畜産クラスター事業　1500万円
民間事業者が実施する畜産クラスター事業に対して支援します。

●未整備森林の環境整備事業　2850万円
町有林の高齢級化や風倒木の解消を図るため、路網を整備します。

●前浜における海洋調査事業　7700万円
増養殖事業の成果を上げるための方策として、前浜一帯を可視化する海洋調査を実施します。

水道事業会計予算

（単位：千円）

予算区分	収入	支出
収益的収入および支出	232,267	224,912
資本的収入および支出	19,668	138,037

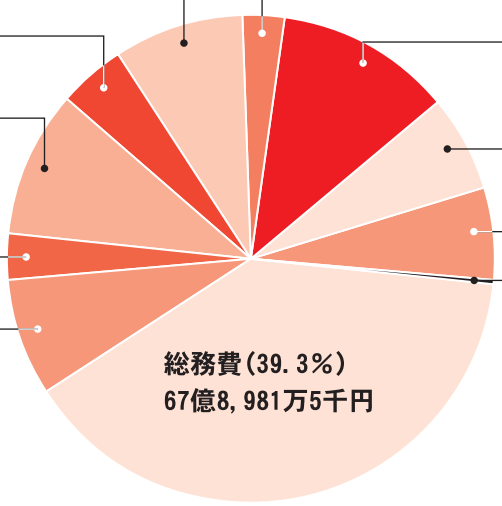
※資本的収支の不足額は、消費税資本的収支調整額等で補てんします。

各会計予算総括表

（単位：千円、△はマイナス）

会計名		令和３年度	令和２年度	増減額
一般会計		17,253,000	14,540,000	2,713,000
特別会計	国民健康保険	1,012,416	1,035,245	△22,829
	簡易水道及び飲用水道供給事業	90,690	63,281	27,409
	公共下水道事業	827,595	881,149	△53,554
	介護保険	984,741	1,002,212	△17,471
	後期高齢者医療	139,290	138,502	788
合計		20,307,732	17,660,389	2,647,343

一般会計 歳出



- 土木費（8.6%）14億7,866万2千円
- 消防費（2.9%）4億9,936万4千円
- 商工費（4.5%）7億7,017万円
- 教育費（11.6%）20億730万1千円
- 農林水産業費（9.7%）16億8,001万2千円
- 公債費（6.4%）10億9,775万7千円
- 衛生費（3.0%）5億1,522万6千円
- 給与費（5.9%）10億1,229万3千円
- その他（0.4%）7,484万4千円
  （内訳）
  - 議会費――（0.4%）6,366万9千円
  - 労働費――（0.0%）114万2千円
  - 災害復旧費―（0.0%）5千円
  - 諸支出金――（0.0%）2万8千円
  - 予備費――（0.0%）1,000万円
- 総務費（39.3%）67億8,981万5千円
- 民生費（7.7%）13億2,755万6千円

健康づくり

スポーツ広場改修事業 1億1375万9千円

スポーツ広場や温水プール施設など、エリア一帯を健康づくりの拠点として整備します。

教育

白糠小中学校外統合事業 11億7676万4千円

幼児教育サポート事業 740万円

幼児教育をサポートする支援員を任用し、幼児期からひらがな読みや簡単な計算の定着を図ります。

青少年海外研修事業 792万3千円

中高生が海外で研修することにより、国際的な規模で創造する広い視野の醸成を図ります。

白糠高校への給食提供事業 400万5千円

無料で給食を提供し、白糠高校の魅力化を図ります。

令和３年度　主な事業と主な施策

主な事業

■振内線改良舗装事業　1億6,260万円
舗装工1,450m

■橋梁長寿命化修繕事業　3億3,643万5千円
補修４橋、詳細設計３橋、定期点検53橋

■自然公園改修事業　1億6,800万円
アイヌ政策推進交付金を活用した２公園の整備

■樹木葬墓所等造成事業　8,500万円
坂の丘公苑墓地内に樹木葬墓所 165区画と合葬墓１基を整備

■国道392号白糠跨道橋撤去事業　2億4,050万8千円
国道に跨る２橋の撤去工事に伴う負担金

■公営住宅長寿命化修繕事業　8,009万6千円
公営住宅外部改修１棟、除却１棟、内部改修12戸

主な施策

■企業版ふるさと納税の募集　4億円
アイヌ民族をテーマにした映画制作への協力・支援

■新規 恋問館移転改築事業　2,710万7千円
改築に向けた取り組みの検討と、移転先の用地を取得

■駅前広場整備事業　1,100万円
バスターミナルと白糠駅舎の合築に向けた取り組みの検討

■新規 結婚新生活支援事業　1,000万円
新婚世帯に対する新生活への支援を行い、経済的負担の軽減を図る

太陽の手 子育て支援

●出産祝い金の支給　130万円
出産１件に対して５万円を支給

●保育料の無料化　1,759万2千円
全ての子どもを対象に保育料を無料化

●入学支援金　226万円
入学時の経済的負担を軽減
（小学生：２万円、中学生：３万円）

●給食費の無料化　1,872万1千円
全ての子どもを対象に給食費を無料化

●子ども医療費の無料化　1,312万6千円
18歳までの医療費を無料化

保健福祉部の課・係名が変わります

子育てと高齢者の各支援事業の円滑した運用と連携強化を図るため、４月１日より組織機構の一部を変更します。今月号の広報（くらしの情報やまちの掲示板のページなど）では、旧課・係名で記載していますので、読み替えてください。なお、行政機構図は５月広報配布時にお配りします。

（旧）	
課　名	係　名
２番窓口 福祉課	①社会福祉係
	②児童福祉係
３番窓口 介護健康課	③介護保険係
	④介護支援係 （地域包括支援センター）
	⑤健康管理係
	⑥健康相談係 （子育て世代包括支援センター）

（新）	
課　名	係　名
２番窓口 介護福祉課 （旧福祉課）	①社会福祉係
	新設 高齢者支援係
	③介護保険係
	④介護支援係 （地域包括支援センター）
３番窓口 健康こども課 （旧介護健康課）	②子育て支援係（旧児童福祉係）
	⑤健康推進係（旧健康管理係）
	⑥健康支援係（旧健康相談係） （子育て世代包括支援センター）

ふるさと納税部門
フォトコンテスト

フォトコンテスト「ふるさと納税部門」には１９７作品の応募がありました。審査員は公益社団法人日本広告写真家協会の大滝恭昌さんです。審査の結果、８作品が受賞しました。



審査員の大滝恭昌さん。釧路市生まれ。道立近代美術館などの収蔵作品や展覧会の図録の撮影を手がけている。2019サッポロスマイル100フォトコンテスト審査員。



最優秀賞　埼玉県川口市　**大田真誉**さん

選評 プロ顔負けの撮影の仕方ですね。明かりも良い感じで立体感が出ていますし、後ろのボケ具合もすてきです。あえてパッケージを入れるのも、にくい演出です。このまま広告写真として使える逸品です。

特別賞

東京都世田谷区　**片山昌美**さん



選評 お子さんの笑顔が良いですね。若干ブレていますが、逆に動きがあっていいと思います。初めて食べた「いくら」が気に入ったお子さんの表情と親ならではの思いが伝わる良い写真です。

優秀賞　東京都墨田区　**小林友梨**さん



選評 すてきな演出をされていて仕上がりも良いです。しっかり明かりも感じられて、いくらやサーモンがおいしそうです。応募者の上品さとセンスの良さが伝わる写真です。

入賞　千葉県館山市　**綱野真璃亜**さん



入賞　東京都世田谷区　**柴田**さん
名字のみ掲載希望



入賞　三重県鈴鹿市　**村田真希**さん



入賞　大阪府大阪市　**龍田美也子**さん



入賞　埼玉県越谷市　**佐藤知恵**さん



防災行政無線 戸別受信機

町民の皆さんに防災情報をいち早く、正確に伝えるため、2月上旬から町内会協力のもと、戸別受信機の設置をお願いしています。

自宅に届いていない場合や、設置方法などが分からない場合は、お手数ですが、役場地域防災課地域防災係☎2―2171（内線222）までご連絡をお願いします。

1 設置する際の注意

必ず電池を入れたうえで、ACアダプタをコンセントにつないでください。乾電池は停電のときに緊急用電源として自動的に切り替わります。

戸別受信機は、電波状態の良い窓際などにアンテナを伸ばした状態で設置してください。



①「AC電源」ランプ
②「乾電池残量」ランプ
③「録音」ランプ
④「再生／次へ」ボタン
⑤「点灯／消灯」ボタン
⑥「解除」ボタン

3月31日試験放送

4月1日から正式運用するにあたり、
3月31日の正午と18時の定時放送（オルゴール曲）後に、
約1分間、音声アナウンスによる試験放送を行います。

わが白糠は栄えゆく

18時に戸別受信機から流れている曲は「町歌」です。町歌は、昭和25年の町制施行に合わせて、町章・小唄とともに制作されました。

歌詞は49点の応募の中から、厚岸町の佐藤冷香女さんの作品が選ばれ、作曲は、札幌市の筒井秀武さんが担当しました。

同じく町制施行に合わせて発刊された「町報しらぬか」の創刊号には「聞いている中に何かしら力が湧いてくる気持ちにかられるすばらしい曲目である、記念祝賀の当日ももちろん末永く郷土のシンボルとして我々の頭上に輝くであろう」とあります。

現在「功労者表彰式」「はたちのつどい」などで斉唱されている町歌は、白糠の歴史を知るためにも、一層大切にしていかなければなりません。

次ページに歌詞を掲載しますので、戸別受信機での放送に合わせて、ぜひ歌ってみてください。

2 本体のランプ

右ページにある戸別受信機の画像①「AC電源」のランプは通常、**緑色に点灯**し、電波の受信状態が悪い場合は**点滅**します。

画像②「乾電池残量」のランプは通常、**消灯**しています。停電時は**緑色に点灯**し、ライトも点灯します。電池残量が少なくなると**赤く点滅**し「乾電池を交換してください」という音声が流れます。

3 放送内容の録音

画像③「録音」のランプは、町からの防災情報等の放送があった場合、その放送内容が録音されている際に**赤く点滅**します。

画像④「再生／次へ」のボタンを押すと、録音された放送内容が新しいものから順に再生され、画像③「録音」ランプの点滅が止まります。

※録音は自動で行われます。最大で30件の放送が録音され、録音件数が30件以上になると、古いものから自動的に削除されます。

4 緊急放送

緊急放送が流れた場合は、**ライトが点灯**し、緊急放送の文字の下部も**赤く点灯**します。

緊急放送は、音量をゼロにしていても最大音量で放送されます。

点灯したライトは、ライトの右側にある、画像⑤「点灯／消灯」ボタンで消すことができます。

音量を通常の大きさに戻す際は、画像⑥「解除」ボタンを押してください。

5 受信機の交換・返却

町内会単位でも放送できるように設定していますので、引っ越しなどの際は、戸別受信機の返却や交換が必要となります。

●町内転居　届け出の際に、転居先町内会の設定をした戸別受信機と交換します。

●転入　転入の届け出の際に、転入先町内会の設定をした戸別受信機をお渡しします。

●転出　町外では使用できませんので、転出届け出の際に返却してください。

●死亡　親族などで、戸別受信機を返却してください。

※役場町民サービス課住民係および庶路支所で転居等の手続きの際に、地域防災課職員から必要な案内をします。

定時放送について

4月1日から災害情報などの緊急放送や町からのお知らせなどがある場合に放送します。また、電波が正常に受信できているか、戸別受信機に不具合が無いかを確認するため、毎日、正午と18時に定時放送を行っています。

正午には「野ばら」。18時には式典などで斉唱している「町歌」のオルゴール曲を放送しています。

定時放送が流れなかったり、途切れたりする場合は、調査が必要となりますので役場地域防災課地域防災係☎2―2171（内線222）へ連絡してください。



白糠町歌　**佐藤冷香女　作詞**
筒井　秀武　作曲

先駆の歴史は映ろいて
流れも清き茶路川の
港にそそぐ平和郷
わが白糠は栄えゆく

銀鱗おどる黒潮や
地下千丈の槌の音
無限の幸をたたえつつ
わが白糠は栄えゆく

穣りの秋の空澄みて
牧場にもゆる夕日影
木遣りの唄も勇ましく
わが白糠は栄えゆく

五つの業に町を挙げ
睦ぶ章も円やかに
気高き阿寒峰の理想もて
わが白糠は栄えゆく



庁舎内設備の説明を受ける児童たち

TOPIC 1 2/20 町の防災拠点を見学

ふるさと未来塾閉講式

今年度最後となる「ふるさと未来塾」が白糠消防庁舎などで行われ、参加した23人の子どもたちが、消防について理解を深めました。

消防庁舎では、消防署職員と町地域防災課職員から消防設備の案内を受けたほか、煙が充満した部屋に入る「煙体験」などが行われました。

音喜多梨乃さん（庶路６年）は「庁舎内の電力に太陽光発電を使っていて、環境に気を付けているところがすごいと思いました」と話していました。

TOPIC 2 2/22 今春、白糠高校を卒業する生徒が思いや考えを述べる

久遠塾「クオンジュクのセイトさん」

今春、白糠高校を卒業する久遠塾の塾生５人が「高校生活で努力したこと」「今の夢」など、６つのテーマで自身の思いや考えを述べる「クオンジュクのセイトさん」が同塾で開催されました。

司会は同塾スタッフの片岡明日香さん（写真右）が務め、この日の様子はネットでライブ配信されました。

吉田希李さんは「ありがとうを伝えたい人」をテーマに「自分を支えてくれた家族に感謝しています。卒業後は美容師になるため頑張りたい」と話しました。



この日の様子はインターネットでライブ配信されました



リングプルを手渡す山根会長（中央）と高橋幹事（左）

TOPIC 3 2/24 福祉活動に協力

ライオンズクラブがリングプル寄贈

ライオンズクラブ（山根政義会長）は、社会福祉協議会(岸本秀彦会長)にリングプル13kgを寄贈しました。

社会福祉協議会では、リングプルを1,600kg収集して車いすに交換していることから、同クラブでは会員８人が数年かけてリングプルを収集していました。

この日、山根会長と高橋清美幹事の２人が社会福祉協議会を訪れ、庶務係の春田修吾係長にリングプルを手渡しました。山根会長は「福祉活動に少しでも協力できれば」と話していました。

TOPIC 4 2/25

長尾さん、丸谷さん、廣冨さんの功績をたたえる

北海道善行賞伝達式

長年にわたり交通安全指導員を務め、交通事故の防止に取り組んだ方に贈られる「北海道善行賞（交通安全実践者）」の伝達式が役場で行われ、棚野町長が受賞した長尾智恵子さん(20年)と丸谷勝義さん（18年）、廣冨満さん(13年)に表彰状と記念品を手渡しました。

長尾さんは「受賞は地域の皆さんのおかげです」丸谷さんは「子どもたちが声をかけてくれるのでうれしい」廣冨さんは「子どもたちの顔を見ると元気がもらえるので、これからも頑張りたい」と話していました。



表彰状を手に喜ぶ丸谷さん、長尾さん、廣冨さん(写真左から)


マイナンバーカードの申請をする中山さん親子

TOPIC 5 2/27

マイナンバーカード取得の良いきっかけに

マイナンバーカード出張申請

２月27日に西庶路コミュニティセンター、28日に庶路町民センターでマイナンバーカードの出張申請が行われました。２日間で120人が申請しました。

西庶路コミュニティセンターを会場に行われた出張申請には65人が来場。中山未也子さんと娘の海怜さんは親子で申請に訪れ、未也子さんは「なかなか申請できていなかったので、良いきっかけになりました。手続きは簡単だったので、申請して良かったです」と笑顔で話していました。

TOPIC 6 2/28

スポーツ振興に貢献

白糠町体育協会表彰式

社会福祉センターで「白糠町体育協会表彰式」が行われました。受賞者は次のとおりです（敬称略）

【最優秀賞】松下一誠（白小４年・ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ）

【優秀賞】朝井風牙（庶路９年・陸上3000m）平本路育（白中３年・陸上駅伝）木下晴楽（庶路５年・ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ）**【奨励賞】**森柊生(庶路９年・陸上ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸｽﾛｰ）渡部竜士（白中３年・ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ）朝井亮牙（庶路６年・陸上1500m）朝井冴郁（庶路２年・陸上ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ投）渡邊心暖（白小５年・陸上800m）



奨励賞（団体）はオカモトＴＴＣ（卓球）が受賞しました

TOPIC 7 2/28

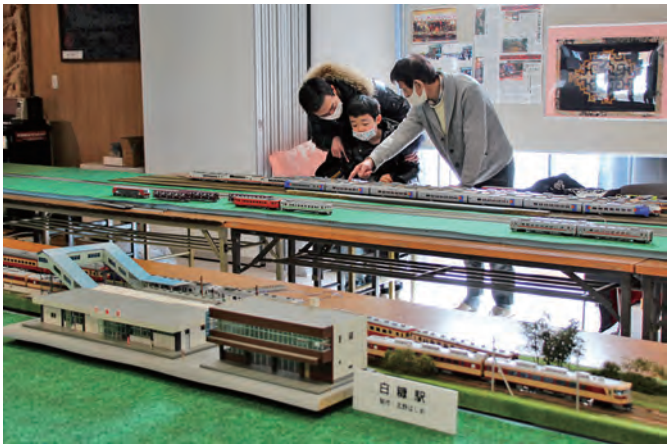
当時の思い出がよみがえる

古瀬駅廃駅1周年事業を開催

昨年の３月14日に廃駅となった古瀬駅。廃駅１周年事業として、駅で使用されていた看板や当時の写真、ジオラマなどの展示会がウレシパチセで行われました。

ジオラマの展示では、昭和58年に全国初の廃止路線となった旧国鉄「白糠線」の廃止前日に運行した「さよなら列車10両編成」が再現されました。

釧路市から訪れた親子は「子どもが列車好きなのでとても楽しみにしていました。良い思い出になったと思います」と笑顔で話していました。



ジオラマを観覧する来場者



来場者がＬＥＤキャンドルを手に卒業生を見送りました

TOPIC 8 3/6

３年間お世話になり感謝

久遠塾「３年生を送る会」

久遠塾の「３年生を送る会」が総合体育館で開かれ、卒業する塾生６人が参加しました。

式では、３年間を振り返る映像が放送され、その後、塾のスタッフや高校の先生などからメッセージが贈られました。井上政史塾長から一人一人に卒業証書が手渡され、最後は高校の先生たちが歌を贈り、思い出に華を添えました。４月から専門学校へ進学する内田華さんは「すごくうれしかったです。３年間お世話になり、とても感謝しています」と話していました。

TOPIC 9 3/7

白糠小金管同好会 練習の成果を披露

白小金管「ファイナルコンサート」

白糠小学校金管同好会のファイナルコンサートが同校体育館で開かれました。

同好会メンバーは１年生から６年生までの16人。コンサートは３部構成で開催され、第２部では卒業生の３人を加えた19人で４曲を演奏しました。第３部では白糠吹奏楽団との合同で「パプリカ」を演奏。１年生の３人がダンスを披露し、会場を沸かせていました。

武田姫奈さん（５年）は「緊張したけど上手に演奏できて良かった。とても楽しかった」と笑顔でした。



昨年はコンサートを開催できなかったことから卒業生も参加



カメラ機能を使った写真の撮り方も学びました

TOPIC 10 3/12

タブレット端末の基本的な使い方を学ぶ

オンライン介護予防教室を開催

65歳以上の町民を対象とした「オンライン介護予防教室」を社会福祉センターで開催しました。同教室は、ケイズプランニングの佐々木圭一代表を講師に招き、３回にわたってタブレットの使い方を学ぶものです。

初日となるこの日は19人が参加し、タブレットの電源の入れ方や画面の切り替え方法など、基本的な操作を学びました。また、タブレットを使った脳トレにも挑戦しました。鈴木麗子さん（75歳）は「初めて使いました。とても楽しかったです」と話していました。

TOPIC 11 3/12

安心安全な生乳生産のために

株式会社M&S牛舎新築工事竣工式

町内の４農家が運営している株式会社M＆S（澁谷博代表取締役）が建設を進めていた牛舎（フリーストール・コンポスター堆肥舎）が完成し、竣工式が行われました。式には、農業関係者をはじめ、来賓や工事関係者など約30人が出席し、神事を行った後、牛乳による乾杯をしました。

澁谷代表取締役は「来月から本格的に始動しますが、安心安全な生乳生産のため１日でも早く軌道に乗せられるよう粉骨砕身していきます」とあいさつしました。



玉串を奉納する澁谷代表取締役



「学校の先生になりたい」と、黒板を使って発表する大村さん

TOPIC 12 3/12

今年度の学習の成果を披露

白糠小学校「学習発表会」

白糠小学校の児童生徒が「総合的な学習の時間」で一年間取り組んできた内容を発表する「学習発表会」が同校で行われました。発表会は、新型コロナウイルス対策により３月３日から学年ごとに行われています。

発表会最終日となるこの日は、６年生29人が体育館、図工室など３会場に分かれて、一人ずつ順番に発表。大村香凛さんは「学校の先生になるために」と題して、黒板に自身で書いた字を使って発表し、会場を訪れた保護者たちから拍手が送られていました。

釧路管内町村職員採用資格試験（大学卒）

受験資格／平成５年４月２日～平成12年４月１日生まれの方
応募期間／４月14日（水）～６月４日（金）
※郵送の場合、当日消印有効
申込書請求先／試験申込書については、釧路管内各町村役場総務課または釧路町村会に請求してください。郵送による場合は、封筒の表に「町村職員採用資格試験申込書請求」と朱書きして、１２０円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（Ａ４判が入る大きさ）を同封してください。
第１次試験日／７月11日（日）
第１次試験会場／釧路町公民館
募集人員／白糠町一般事務２人・釧路町一般事務若干名・厚岸町一般事務２人・浜中町一般事務１人・標茶町一般事務２人・弟子屈町一般事務２人・鶴居村一般事務１人
※町村会では採用しません。
問合先／総務課職員係 内線（214）
釧路町村会事務局 ☎0154-43-0649

国税専門官を募集

受験資格／次の①もしくは②に該当する方
①平成３年４月２日から平成12年４月１日生まれの方
②平成12年４月２日以降に生まれた方で、大学を卒業する見込みのある方等
試験日／第１次試験：６月６日（日）
第２次試験：７月５日（月）～16日（金）のうち指定する日
応募方法／申し込みは次のＵＲＬから行ってください。
ホームページ／http://www.jinji-shiken.go.jp/juken/html
応募期間／３月26日（金）～４月７日（水）
問合先／釧路税務署総務課 ☎0154-31-5100

広告



白糠町職員（土木技術職員）を募集

受験資格／次の①～④の条件に該当する方
①昭和56年４月２日以降に生まれた方
②学校教育法に基づく高等学校以上の学校で土木工学等の学科を卒業した方
③１・２級土木施工管理技士または同等の資格を有する方もしくは民間企業で土木設計や施工管理、構造物維持管理の職務経験がある方
④採用後、町内に居住できる方
募集人員／１人
採用年月日／令和４年４月１日
試験期日／５月中旬予定 ※別途通知します。
試験会場／白糠町役場
試験内容／書類選考、作文試験、面接試験
応募方法／履歴書（写真添付）に最終学校の卒業証明書等の必要書類を添えて、総務課職員係へ提出してください。
※提出書類の詳細は、総務課職員係に問い合わせください。
履歴書等請求先／総務課職員係に請求してください。郵送による場合は、封筒に朱書きで「白糠町職員採用試験履歴書請求（土木技術職）」と記載し、１２０円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（Ａ４判が入る大きさ）を同封してください。
※町ホームページからダウンロードすることもできます。
応募期限／４月30日（金）まで
※郵送の場合は必着
問合先／総務課職員係 内線（214）

会計年度任用職員を募集

業務内容／マイナンバーカードの申請・交付・更新事務
受験資格／町内在住の65歳以下の方で、高等学校卒業または同等以上の学力を有し、基本的なパソコン操作（ワード・エクセル等）が可能な方
募集人員／１人
雇用期間／６月１日～令和４年３月31日
勤務時間／9：00～16：00（休憩時間12：00～13：00）
※勤務日は平日。土曜・日曜・祝日は休み。
応募方法／履歴書（写真添付）を町民サービス課住民係へ提出してください。履歴書は、住民係に備え付けているほか、町ホームページからダウンロードすることもできます。
※郵送による場合は、封筒に朱書きで「会計年度任用職員募集書類在中（一般事務職員）」と記載してください。
応募期限／４月15日（木）まで ※郵送の場合は必着
選考方法／書類審査、面接
問合先／町民サービス課住民係 内線（514）

放し飼いの犬は捕獲の対象となります

●野犬掃とう期間：４月１日～翌年３月31日

野犬掃とうは、野良犬や浮浪犬による人などへの被害を防ぐために実施するものです。放し飼いの犬は野犬とみなし捕獲の対象となりますので、飼い主の方は犬を放さないよう気を付けてください。また、犬の散歩は必ず鎖等でつなぎ、ふんは放置せずに必ず持ち帰りましょう。

問合先／町民サービス課生活環境係　内線（517）

お墓に関する届け出について

次に当てはまる場合は必ず届け出をしてください。

①お墓に納骨する場合
②お墓の使用者を変更する場合
③納骨されている場所から他の墓地やお寺に移す場合
④お墓の建設、改築、撤去する場合
⑤お墓を返還する場合
※使用者が死亡した日から10年経過しても継承者がいない場合や土地の使用許可を受けてから、使用せずに３年を経過した場合は、使用許可が取り消される場合がありますので注意してください

問合先／町民サービス課生活環境係　内線（517）

土地価格・家屋評価縦覧帳簿の縦覧

固定資産税台帳を基に作成される「土地価格等縦覧帳簿」および「家屋価格等縦覧帳簿」を次のとおり縦覧します。

縦覧期間／４月１日(木)～６月１日(火)
8：30～17：00（土曜・日曜、祝日を除く）
縦覧場所／役場税務課窓口
必要なもの／申請に来る方の印鑑、代理人・法人の場合は委任状
問合先／税務課資産税係　内線（535）

合併処理浄化槽の補助制度について

合併処理浄化槽設置等の費用について、工事費の一部を補助します。将来的に設置を検討している方も気軽に相談してください。

●これから設置したい方

補助金額／５人槽～90万円　６人槽以上～１１０万円
※単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換工事の補助制度もあります（上記の金額＋９万円）。

●一緒に水洗トイレに替えたい方

補助金額／１棟につき～限度額６万円
※町内金融機関から融資を受けることができる制度もあります。融資の条件等については町民サービス課生活環境係まで問い合わせください。

●合併処理浄化槽を設置している方

設置後の検査と年に１回受ける法定検査費用を補助します。対象者には検査後に案内します。
※対象地域は下水道整備計画区域以外の住宅、業務施設となります。

受付期間／４月１日～令和４年２月末まで
問合先／町民サービス課生活環境係　内線（517）

環境家計簿を利用しましょう

環境家計簿とは、家庭で利用する電気・ガス・水道などの二酸化炭素排出量を記録するものです。環境家計簿に取り組むことで、各使用料金や二酸化炭素排出量を確認することができるので、地球にも家計にも優しい生活を習慣づけることができます。

少しでも二酸化炭素排出量を減らし、地球温暖化防止につなげるために、ぜひ環境家計簿を利用してください。

環境家計簿は町ホームページからダウンロードすることができます。

ホームページ／「白糠町　環境家計簿」で検索
問合先／町民サービス課生活環境係　内線（517）

広告

令和３年
谷口体験農園利用者募集

利用期間　令和３年５月下旬から10月31日まで
利用場所　白糠町西３条北９丁目１番地６畑地
利用区画　１区画約50㎡（５ｍ×10m）
２区画まで利用可
利用料金　１区画利用期間（年間）
５，０００円＋消費税
募集期間　４月１日から４月20日まで

◆申込方法

往復はがきの往信面に①氏名②住所③電話番号（自宅または携帯）④個人または共同の区分⑤利用予定者数⑥利用希望区画数⑦その他希望事項を記載し、返信面に住所、氏名を記入の上、４月20日（消印有効）までに下記申込先へお送り下さい。
※申込者多数の場合、園主が抽選を行います。また、利用の可否は５月上旬までに返信はがきでお知らせします。

◆申込・問合せ先（４月１日より９時～17時）

〒088-0325白糠町西３条北９丁目１番地２
谷口体験農園　谷口 善一　☎2-３０９０



白洋大学の学生を募集

白洋大学では、豊かに暮らすための知識や教養を学ぶ集合学習会をはじめ、軽スポーツ大会や他町村の大学との交流会など、さまざまな活動を行っています。
興味のある方は、ぜひご連絡ください。

入学資格／60歳以上の町民
※60歳未満の方でも予備生として入学できます。
年会費／1,000円（別途、教材費が必要）
申込方法／社会福祉センターにある入学願書に必要事項を記入の上、提出してください。
問合先／社会教育課社会教育係 ☎ ２－２２８７

特別児童扶養手当の支給

特別児童扶養手当とは、身体や精神に一定以上の障がいのある20歳未満の児童を養育している家庭に対して支給されます。手当の額は、障がいの程度および人数に応じて定められていて、手当を受けるには、認定請求の手続きが必要です。前年所得が一定額以上の場合、手当が受けられない場合があります。

対象／身体や精神に障がいのある児童の父または母、父母に代わって養育している方
手当月額／障がい１級 ５２，５００円
障がい２級 ３４，９７０円
支給時期／４月、８月は前月分まで、11月は当月分までが支給されます。
問合先／福祉課社会福祉係 内線（529）

今月の夜間窓口

日時● ４月28日（水）17:00～19:00
会場●役場１階税務課窓口（８番窓口）

問合先●税務課収納係 内線（538）

町営住宅の入居者を募集

申込期間／４月１日（木）～４月９日（金）
申込方法／役場２階建設課と庶路支所に備え付けてある「町営住宅入居申込書」に必要事項を記入し、次の①もしくは②の書類を添付して申し込みしてください。庶路支所でも申し込みすることができます。
①町内に居住する方／同居する全員の令和元年分の収入と所得が分かる書類（源泉徴収票など）
②町外に居住する方／同居する全員の住民票、所得証明書、納税証明書
入居時期／令和３年５月上旬予定
募集住宅／３ＬＤＫは３人以上、２ＬＤＫは２人以上、１ＬＤＫと３ＤＫは単身で申し込みできます。

４月１日の入居者から、２人世帯でも妊娠中の場合は、３ＬＤＫに申し込むことができるようになりました。

●橋北団地

①築S57年	2階3DK	2K1-5	家賃15,800円～
②築S57年	2階3DK	2K1-6	家賃15,800円～

●日の出団地

①築S54年	1階3DK	3F-38-4	家賃14,500円～
②築S55年	3階3DK	3F-39-11	家賃15,300円～
③築S56年	1階3DK	3F-40-4	家賃15,900円～
④築H 3年	2階3DK	3F-41-8	家賃19,100円～
⑤築H 4年	3階3LDK	HK-1-11	家賃21,500円～

●共栄団地

①築H14年	2階3LDK	KR-2-7	家賃27,400円～

●信和団地

①築S63年	3階3DK	3F-7-12	家賃18,200円～
②築H 2年	2階3DK	3F-9-7	家賃18,700円～
③築H 2年	3階3DK	3F-9-10	家賃18,700円～

※申込資格や月額家賃（収入基準により異なります）は、お問い合わせください。
問合先／建設課住宅管理係 内線（284）

広告

ヘアーショップ
トミタ
☎5－2155
－ MENU －

カット	男性	3,700yen
	女性	2,500yen
パーマ	男性	7,400yen～
	女性	6,000yen～
カラー	男性	6,600yen～
	女性	6,000yen～
縮毛矯正	男性	12,000yen
	女性	11,000yen
トリートメント		1,100yen

ヘッドスパは髪・頭に効果的！ 1回1,000円
ヘッドスパには、リラクゼーション効果はもちろん、以下のような効果も期待できます。また、専用の機械でマイナスイオンを当てることで髪にツヤを出します。
ヘッドスパの効果
頭皮環境改善
（抜け毛／薄毛対策）
首や肩のこりの緩和
アンチエイジング
美髪、安眠 など


広告

料理にも贈り物にも使える！
む～んらいと 得々チケット

５００円券を１０枚購入で１枚お得！
この豚丼各店、釧路地方合同庁舎えすかる、チャペルでの料理や商品に利用できます！
【毎月10日は“豚丼の日”この豚丼のタレ３割引き！】
使用可能店舗
●この豚丼/恋問館【道の駅店】
●この豚丼/イオン釧路店
●レストランむ～んらいと（西庶路店）
●えすかる 釧路地方合同庁舎店
●チャペル恋問館【道の駅店】


レストラン
む～んらいと
恋問館 道の駅店
☎5-3224
【パートさん大募集！☎0154-32-2010】

社会福祉協議会会葬お礼はがき利用料について

・綿貫　禮子さん（東１南１）12,000円
・伊藤　徳子さん（東１北４）　8,000円

福島県沖地震災害義援金に協力を

令和３年２月13日に発生した地震により、福島県を中心として広域にわたり被害が生じています。
被災された方を支援するため、義援金を受け付けていますのでご協力をお願いします。
受付期間／５月31日(月)まで
受付・問合先／福祉課社会福祉係　内線（529）



釧路市西消防署白糠支署 ２月の活動状況

救急出動件数	**４６件（９１件）**
・急　病	３２件（６１件）
・交通事故	１件（　４件）
・その他	１２件（２６件）
ドクターヘリ搬送件数	**１件**（　１件）
火災出動件数	**２件**（　４件）
その他の出動件数	**５件**（１３件）

※（ ）内は令和３年１月からの累計出動件数

春の火災予防運動

４月20日～30日まで「春の火災予防運動」を実施します。町民一人一人が防火意識の向上に努め、火災から大切な命、財産を守りましょう。

問合先／西消防署白糠支署　☎２－２０５３

生き活き外出支援タクシー・町営バス補助券について

対象／次の①または②に該当する方
①高齢の方で次のいずれかに該当する方
・満75歳以上の方
・満65歳から74歳以下で介護保険要支援１または２を認定されている方
・満65歳から74歳以下で運転免許証を自主返納した方
②障害者手帳等を交付され、次のいずれかに該当する方
・身体障害者手帳１級または２級を交付されている方
・内部機能障がいで身体障害者手帳３級の方
・療育手帳「A」と判定、診断された方
・重度の知的障がいと判定、診断された方
・精神障害者保健福祉手帳１級を交付されている方
助成内容／１枚１００円のタクシー・町営バス運賃補助券を対象者１人につき年間60枚交付。
申込／対象者には４月上旬に案内文を発送しますので、福祉課または庶路支所で手続きをしてください。
※民間のバスには利用することができません。
問合先／福祉課社会福祉係　内線（529）

“70歳以上”生き活きしらぬか健康入浴事業

日時／毎月　第２・第４金曜日　10：00～16：00
場所／しらぬかの湯（東２条北３丁目）☎2-3272
対象／令和３年４月１日を基準日とする住民基本台帳上の町民で、満70歳以上の方
申請／対象者には申請書を発送しますので、申請書・印鑑・保険証や運転免許証などの本人確認ができるものを持参の上「しらぬかの湯」の窓口で手続きをしてください。
※申請時に発行される登録カードをすでに持っている方は、引き続き利用することができますので、申請手続きは不要です。
問合先／福祉課社会福祉係　内線（529）

広告



Notic

温水プール リニューアルオープン

施設の改修工事により利用を中止していた温水プールについて、営業を再開しました。

幼児用プールやすべり台、壁面などを改修したほか、25mプールの床をタイルにしたことで滑りにくくなり、より安全な水中歩行を行うことができるようになりました。日々の健康づくりや体力づくりのため、ぜひご利用ください。

開館時間／10：00～22：00（月曜日は休館）



問合先／温水プール ☎２－３２７２

Notic

西庶路寿の家が完成しました

「西庶路寿の家」が完成しました。４月１日から利用することができます。

バリアフリー対応で、だれもが使いやすい施設となっていますので、ぜひご利用ください。

なお、駐車場等の外構舗装工事は、令和３年度に行います。



問合先／福祉課社会福祉係 内線(529)
庶路支所 ☎５－２０３０

Notic

白糠地区義務教育学校の校名が決定

白糠小学校と白糠中学校を統合し、新たな学校として開校を予定している義務教育学校の校名が決定しました。

新しい校名は**「白糠町立白糠学園」**です。

校名については、地域や保護者、学校関係者等で構成する「白糠地区義務教育学校開校準備委員会」において協議を進め、令和３年第１回定例議会で条例改正の議決を経て正式に決定いたしました。

白糠小・中学校の統合により、町内全ての学校が校舎一体型となりました。その中で、白糠学園、庶路学園については、同じ義務教育学校として学校名に統一性を持たせたなか９年間の教育活動を推進する体制が整いました。



開校は令和４年８月（２学期）を予定しています。

問合先／管理課学校建設係 内線(269)

Notic

白糠中学校 一時移転のお知らせ

白糠中学校の校舎改修工事開始に伴い、白糠中学校を白糠高等学校へ一時移転します。移転期間は、本年４月から令和４年７月末までとなります。

なお、移転後も電話番号、メールアドレスの変更はありません。

白糠中学校に用件がある方は、白糠高等学校職員玄関前に中学校専用のインターホンを設置していますので、そちらを利用してください。



問合先／管理課学校建設係 内線(269)

Notic

「縫別自然の家」利用受付開始

縫別自然の家は、豊かな自然を生かした宿泊施設です。自然体験や文化・スポーツ活動をはじめ、レクリエーションや研修の場としても利用できます。

体育館、調理室、シャワー室のほか、野外炊飯場、ミニパークゴルフ場もあり、宿泊でも日帰りでも利用できます。学校や子ども会などの活動に、ぜひご利用ください。

受付開始／４月１日(木)

開設期間／５月１日(土)～10月31日(日)

申込方法／事前に電話等で予約後、申請書に使用料を添えて使用日の５日前までに申し込みください。

縫別自然の家使用料／※幼児は無料。

区　分		使用料(1人1回)	宿泊料(1人1泊)
小・中学生、義務教育学校の児童生徒	町内	１５７円	加算　１５７円
	町外	２３５円	加算　２３５円
高校生以上	町内	３１４円	加算　３１４円
	町外	４７１円	加算　４７１円

問合先／社会教育課社会教育係　☎２－２２８７

Notic

児童館においでよ

●やまびこ児童館　☎２－２０８１

・８日(木) クラブ対面式
・９日(金) 新入生歓迎会
・19日～24日　制作活動　・23日(金) わなげ大会
・26日(月) 避難訓練　・28日(水) クラブ誕生会

●ふれあい児童館　☎５－４００６

・９日(金) クラブ対面式
・15日(木) クラブ誕生会
・16日(金) 環境学習活動　・19日(月) 避難訓練
・21日(水) 新１年生お楽しみ会



Book

新着図書案内

一般図書



国道食堂 2nd season
著者：小路幸也



わんダフル・デイズ
著者：横関大



公孫龍 巻1 青龍篇
著者：宮城谷昌光

児童・生徒図書



夢の発電って、なんだろう?
著者：森川成美



うさぎのモニカのケーキ屋さん
著者：小手鞠るい



こども衛生学
著者：宮崎美砂子

今月のおすすめ本

「黄色い川 北海道戦後開拓・離農農民誌」

著者：菊地慶一
出版社：書肆 山住

著者自らの戦争体験と、混迷する時代に翻弄される開拓農民の姿が丁寧に記録された本作。

文中には白糠の大秋地区に入植した方々の経緯についても記載があり、本町の歴史的資料としても貴重な一冊です。



絵　本



会いたくて会いたくて
著者：長谷川義史



ひびけ
わたしのうたごえ
著者:ジェリー・モースタッド

新着図書はこの他にもたくさんあります。町ホームページで紹介していますので、ぜひご確認ください。

問合先　公民館図書室 ☎ ２－５５５５　10:00～18:00（土・日・祝日は 17:00 まで）月曜日は休館日

久遠塾

君の世界に芽生えるものは

vol.22



かたおか　あすか
片岡　明日香

3月1日、白糠高校で卒業式が行われました。久遠塾の生徒が堂々と、でも少し、はにかみながら入場してくる姿を見ただけで、ウルウルしてしまった私です。

「入学当初は、白糠高校に来て良かったなんて絶対に思えないと感じていたけど、卒業を目前にした今、高校生活を白糠高校で送ることができて良かったと、心から思っています」

これは、答辞を述べた生徒の言葉です。とってもすてきな答辞の、ほんの一部ですが、この言葉が彼女の3年間を物語っているような気がしました。

私がいつも卒業生に対して思うのは「辛いことや苦しいことなど、いろいろあったけど、何だかんだいい3年間だったなぁ」と思えているといいな、ということです。

私が高校生だったとき、生徒会の顧問の先生から「やって良かったかどうかは、自分の役目が全て終わったときに判断しなさい」と言われたことがあります。

うまくいかなくて、投げ出したくなることもあるけれど、全部やり終えたときにどう感じるか。私は、だいたいいつも最後には「いろいろあったけど、いい経験ができたな。やって良かったな」と思います。先生の言葉のおかげだと思っています。

だから、白糠高校に通ったことが、願わくば久遠塾にも通ったことが、生徒たちにとって「振り返ってみたらいい時間」だったらすごくうれしいな、と思います。

そしてもう一つ。これは私が教員時代に、尊敬していた先生が部活動を引退する生徒に向けて話していたことです。

「今までがどれだけ輝いていても、次に会ったとき『先生、私、今が一番楽しくて幸せ！』って言える人生を送ってほしい」

3年生と過ごした3年間は、私にとって本当に本当に大切で、3年生がいなくなるなんてやだ！寂しい！と思うのですが…。

みんなはみんなで、新たな一歩を踏み出します。新しい出会いもあるだろうし、新しい生活が待っています。みんなが頑張るんだから、私だって頑張らなきゃ、と思います。また会えたときに、お互いの「今が一番楽しくて幸せ」話が尽きないことを願って。

いつでも会いにきてね。

■4月以降のゼミについては、現在計画を立てているところです。決まり次第、チラシやSNSにてお知らせします。お楽しみにお待ちいただけると幸いです！

久遠塾「3年生を送る会」

白糠町のみんなは、みなさんのことをずっと応援しています。

白糠を離れる人にとっても、いつでも帰ってくることのできる場所だといいな。「白糠高校出身です！」と胸を張って、これからの人生を進んでいってください。

だからみなさんも、心のどこかで、町や高校や塾のことを思ってくれたらうれしいです。卒業、本当におめでとう。






「3年生を送る会」は18頁の「まちの話題」でも掲載しています。

久遠塾（くおんじゅく）　☎080-2182－1379　13:00～21:00
メールアドレス　shiranuka.kuon@gmail.com
ブログ　https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com



白糠町のＰＲのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊
キタダ ジュンコ
北田 純子



Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
2019年４月から白糠町の観光をＰＲする地域おこし協力隊として着任。
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

■北田純子ブログ
「シラヌカＡtoＺ」
https://shiranuka.wixsite.com/atoz

町民の皆さんにお願い

来年３月末の任期終了後、白糠の海が見える所でお店を開きたいと思っており、オーシャンビューの中古物件を探している最中です。心当たりのある方がいらしたら、ぜひ北田までお声がけいただけますと幸いです。
ご連絡先：☎２－２１７１
役場商工係（内線244・246）

町外の白糠町ファンを増やしたい理由

「町外に住む白糠町ファンが増えるとどうなるの？」という疑問。私はさまざまなプラス効果があると考えていますが、その一つに経済効果があります。町外に住む白糠町ファン＝関係人口が増えると、ふるさと納税の寄付額増加↓町民への還元（例：福祉の充実）というプラス効果が働くこともありますし、観光消費額増↓町内事業者の売り上げ増↓町の税収増加↓町民への還元という形にもなります。

しかし、関係人口を増やしたいのは他の自治体も同じです。ではどうしたら、多くの自治体の中から白糠町を選んでもらえるのか。

私は**「白糠町を深く愛してもらうこと」**が重要だと考えています。

そもそも関係人口とは何か―。私は「楽しくて（好きで）何度も来ちゃう（買っちゃう）リピーター」「この地に忘れられない思い出がある」「白糠町のアレコレをつい周りの人にも勧める人」というように、町外に住みつつ本町に対して強い思い入れを持つ人を関係人口と捉えています。

では、まっさらな人がどうしたら白糠町を深く愛するようになるのか。そのカギを握るのが、情報発信なのです。

私はこれまでの経験を生かして、町の公式ＳＮＳ運営やブログを運営しているので、これを例にご紹介します。フェイスブックやブログで町の情報をただそのまま投稿するだけでは、フォロワーさんはただの閲覧者にとどまり、関係人口には進化しないと考えています。重要なのは、**皆さんにとっては当たり前だけど、外から見たら素晴らしいこと**。つまり、白糠町らしさ・白糠ならではと言える魅力をしっかりと伝えることなのです。そのため、取材前に構成案を考えリサーチし、取材の際は誰に何を聞きどんな写真を撮るか考え、分かりやすいテキストにまとめ、投稿・記事を作成します。もちろん「読んで新たな知識を得た」「おもしろかった」「見て心が晴れた」など、フォロワーさんの心をひきつける要素も必要です。投稿もまめに行い、ＳＮＳやブログのコメントへの返信、お問い合わせの対応、ある時はこちらから直接メールを送ったり、ＳＮＳ広告を活用してフォロワーさんとの接点を増やしたり、心理学でいう単純接触効果を活用します。ひたすら地道な積み重ねです。しかしこうすることで、フォロワーさんはより深く・強く白糠町を愛するようになり、他の選択肢ではなく、白糠町を選んでくれるようになります。そのために必要なのが、重ねてになりますが、皆さんにとっては日常のことでも、外から見たら非常に素晴らしいこと。これこそが、フォロワーさんたちの心をひきつける要素なのです。なので、皆さんの『当たり前』を、どんどん私に教えていただきたいのです。

HAYASAKA AKANE

早坂茜

はやさか　あかね

2002年７月14日生まれ。白糠高校卒業後、北海道医療大学心理科学部へ進学。高校では吹奏楽部に所属し、アルトサックスを担当。各校の代表者のみが出られる釧路地区管楽器個人コンクールで４位となる。趣味はピアノ。



「白糠高校での３年間は、かけがえのない思い出です」

今年３月に白糠高校を卒業した早坂茜さん。４月からは当別町にある北海道医療大学へ進学する。心理職の国家資格である「公認心理師」の資格取得を目指して、大学へ進学する道を選んだ。釧路市で生まれた早坂さんは、父親の転勤により、幼少期を神奈川県や愛媛県で過ごし、中学２年生のときに白糠町へ転入してきた。

「子どもの頃から引っ越しが多く、いろいろなところで暮らしながら、その地域ごとでの違いを肌で感じてきました。たとえば、私が幼稚園の頃、クラスメイトに外国の方が何人もいて、そこではそれが当たり前だったのですが、私が転校した先の学校では、外国人が少なく、そのうちの一人は言語の違いから意地悪をされていました。前の学校でも言語の違いはあったのに、なぜこんなにも違うのだろうと驚きました。いろいろな人たちと関わる中で、育ってきた環境や地域の違いなどから、考え方が全然違うということを知りました」

人との関わりの中でさまざまなことを学んできた早坂さん。こうした経験が、心理学に興味を持つきっかけの一つになったのかもしれない。白糠高校でも一つの出会いがあった。

「以前、白糠高校にいた養護教諭の長谷川郁子先生と出会い、先生の考え方を聞いて、憧れや尊敬を抱くようになりました。先生は『考え方や気持ちの持ち方ひとつで、人を元気にすることができる』といい、『人の心に興味があるのなら、心理学という学問があるよ』と教えてくれました。それで、大学へ行って心理学を学ぼうと思いました」

長谷川先生との出会いもあるが、白糠高校が早坂さんに与えた影響は大きい。

「私は努力することが一番大事だと思っています。努力をしたからといって必ず報われるわけではありませんが、少なからず自分のためになっていることを高校生活の中で何度も感じてきました。そう感じることができたのは、白糠高校の先生方のおかげです。先生方は、私が努力していることに対して、全力で背中を押してくれました。本当にうれしかったです。また、白糠高校に進んだことで、久遠塾へも通うことができました。久遠塾では、町内で仕事をしている方から直接お話を聞くことができ、そこには自分の知らない世界がたくさんありました。そういう経験をさせてもらえたことが、すごくありがたかったです。高校の先生や友達、久遠塾といった存在があったからこそ、今の自分があると思っています。そういう環境を与えてもらえた自分は、本当に恵まれていると思います。白糠高校で過ごした３年間は、私にとってかけがえのない思い出です」



友達に誘われて入った吹奏楽部。高校では部活を一番頑張ったという早坂さん。

ひとのうごき　令和3年2月28日現在

◆ 人口　7,528 人（▲ 8 人）
　男　3,527 人（▲ 5 人）
　女　4,001 人（▲ 3 人）
◆ 世帯　4,076 世帯（▲ 2世帯）
※（　）は前月比

戸籍のまど

おめでとう

東１北３　江　本　心桜（こはる）ちゃん（将人さん）

おくやみ

東１北６　阿　保　キミ子さん（８７歳）
西４北１　柴　田　幸　安さん（８７歳）
西４北１　大　和　則　夫さん（７４歳）

２月16日～３月15日の届出で承認をいただいた方のみ掲載しています。

我が家のたいよう



江本　心桜 ちゃん

毎月 16 日～翌月 15 日までに出生した乳児が対象です。
写真は、出生の届出の際に掲載を希望された方のみ掲載しています。

楽屋オチ

19日に白糠小の卒業式が行われました。コロナ対策により制限がある中でしたが、先生や在校生の心温まるメッセージ等で、思い出に残る素晴らしい卒業式になりました◆「卒業式」の看板前で写真を撮ろうとしていた五十嵐夫婦。旦那のＹ氏は、撮影時に周囲から「一番のイケメン顔で！」との声援を受け、鼻息が荒くなる。しかし、マスク着用のため、眼鏡が曇って笑いを取ることに◆さすがだな～、今度マネしよう！問題なのは、私には「イケメン顔で」との声援が飛んでこないことかな（Ｓ）

人事異動の内示が発表され、ついに異動することとなりました◆町民の皆さんには、写真の撮影やインタビューの対応など色々な面でお世話になりました。それと、カメラをもって町をうろつくという、若干怪しい人間だったと思うのですが、５年間一度も通報されませんでした。本当にありがとうございました！◆ちなみに、今回が最後の楽屋オチになりますが、特にオチはありません。しいていうなら、最後の最後でも落ちないというオチです。（Ｔ）

サンアリーナしらぬか通信

総合体育館

～「空中感覚」「体幹」を育てよう～
トランポリン教室参加者を募集中！

トランポリンは、運動感覚を養う５歳～10歳に実施することで、空中の身体操作感覚が身につきます。

今後どんなスポーツをする際にもトランポリンで養った空中感覚が役に立ちます。また、腹筋や背筋も使うので体感が鍛えられます。

初めてのお子さんでもインストラクターがやさしく指導してくれますので、楽しみながら参加できます。



日程／毎週月曜日　16：00～17：00
対象／５歳～小学６年生まで
料金／月４回　4,000円（税別）
※無料体験・見学も随時受け付けていますので、気軽に問い合わせください（無料体験は事前予約が必要です）。
必要なもの／マスク、運動しやすい服装、運動靴、靴下、タオル、飲み物
問合先／総合体育館　☎２－５３４５

広報しらぬか 4
2021（令和３年）
No.1013

間伐で未来につなぐ北の森
広報しらぬかは道内産の間伐材で作られた紙を使用しています

4月くらしのカレンダー

1 (木) ・縫別自然の家受付開始 詳27ページ

2 (金)

3 (土)

4 (日)

5 (月) ・白糠こども園入園式

6 (火) ・庶路こども園入園式
・移動献血車「ひまわり号」来町

7 (水) ・白糠小、茶路小中、庶路学園入学式 10:00～、白糠中入学式 13:00～

8 (木) ・白糠高校入学式
・母子健康相談 10:00～保
・１歳６カ月児、３歳児健康診査 12:30～保
・ふるさとブックスタート 12:30～保

9 (金) **・70歳以上しらぬかの湯無料入浴日**

10 (土)

11 (日)

12 (月) ・こころの相談 13:00～役

13 (火)

14 (水)

15 (木)

16 (金)

17 (土)

18 (日)

19 (月) ・ママ・こっこ広場「ママの健康と食事～助産師・管理栄養士のはなし～」13:30～子

20 (火)

21 (水)

22 (木)

23 (金) **・70歳以上しらぬかの湯無料入浴日**

24 (土)

25 (日)

26 (月) ・こころの相談 13:00～役

27 (火)

28 (水) ・夜間納税窓口 17:00～役 詳24ページ

29 (木) **・昭和の日**

30 (金)

移動献血車「ひまわり号」が来町します

●４月６日(火)
白糠町役場　9：30～16：30
※海外から帰国して４週間以内の方や、欧州での滞在経験がある方は、献血をご遠慮いただく場合がありますので、ご了承ください。
問合先／福祉課社会福祉係 内線（529）

町の花「キンセンカ」を植えましょう

町の花「キンセンカ」は、昭和49年に開基90周年を記念して、町民のみなさんに選ばれ制定されました。

色鮮やかでとても育てやすい花なので、庭などに植えてみてください。町を「キンセンカ」で飾りましょう！



役役場庁舎 社社会福祉センター 保保健センター 公公民館
コ西庶路コミュニティセンター 庶庶路町民センター 支庶路支所 総総合体育館 温温水プール 集集会所 PGパークゴルフ場
ややまびこ児童館 ふふれあい児童館 子子育て支援センター 詳詳細内容の掲載先ページを表す

発行日／令和3年3月25日（月1回発行）
発行／白糠町　編集／企画財政課地域交流係

白糠町役場
〒088-0392 北海道白糠郡白糠町西１条南１丁目　TEL 01547-2-2171　FAX 01547-2-4659
メール tantaka@town.shiranuka.lg.jp　ホームページ https://www.town.shiranuka.lg.jp